

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成 30 年)
概要版

令和元年 12 月

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成30年）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【観光入込客統計に関する共通基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」に基づき実施した。平成30年については、全国観光統計基準に適合する106地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。平成30年の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約7,093万人であった。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

観光地点等の分類		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年
大分類	中分類					
学ぶ (見る・体験する)	自然				(1) 54,692	(1) 52,124
	文化・歴史	(26) 22,361,685	(26) 23,556,367	(26) 23,300,401	(37) 23,848,487	(40) 25,157,487
	産業観光	(6) 2,175,112	(6) 2,274,112	(6) 2,149,817	(6) 1,364,185	(6) 1,306,959
遊ぶ (楽しむ・リフレッシュする)	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,412,265	(16) 12,059,196	(15) 13,263,867	(22) 15,897,887	(22) 15,232,108
	温泉					
	買物					
触れ合う (交流する)	行・祭事	(16) 8,502,057	(16) 8,021,482	(15) 8,592,346	(15) 6,255,906	(15) 7,803,274
	イベント	(20) 22,564,723	(20) 22,525,264	(21) 23,129,212	(22) 23,496,410	(22) 21,379,636
計		(84) 67,015,842	(84) 68,436,597	(83) 70,435,643	(103) 70,917,567	(106) 70,931,588

注：調査観光地点数は、年及び年度によって変動する。

参考：「観光入込客統計に関する共通基準（平成25年3月改定）」より抜粋

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。
- ②観光入込客が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

この報告書に記載のある数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

【観光入込客実人数の推計】

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成30年の観光入込客実人数は4,729万人となった。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年
観光入込客延べ人数(人)	67,015,842	68,436,597	70,435,643	70,917,567	70,931,588
平均訪問観光地点数	1.69	1.58	1.49	1.50	1.50
観光入込客実人数(万人)	3,965	4,331	4,727	4,728	4,729
宿泊客実人数(万人)	586	653	639	625	677
日帰り客実人数(万人)	3,379	3,678	4,088	4,103	4,052

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	4,729万人	41.8%	58.2%	1,977万人	2,752万人
宿泊客	677万人	0.9%	99.1%	6万人	671万人
日帰り客	4,052万人			1,971万人	2,081万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。平成30年の名古屋市内の観光総消費額は3,958億円となった。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年	
宿泊客一人あたり消費額	26,422円	26,353円	24,530円	25,498円	29,296円	
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,527円	3,215円	2,905円	3,090円	2,842円
	名古屋市外	7,134円	7,292円	6,211円	6,558円	6,795円
宿泊客総消費額	1,549億円	1,720億円	1,567億円	1,595億円	1,983億円	
日帰り客総消費額	名古屋市内	739億円	474億円	496億円	560億円	561億円
	名古屋市外	916億円	1,606億円	1,478億円	1,501億円	1,414億円
名古屋市内観光総消費額	3,204億円	3,800億円	3,541億円	3,656億円	3,958億円	

■ 観光消費額の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年	平成30年
食事費消費額	929億円	1,096億円	1,082億円	1,145億円	1,162億円
交通費消費額	453億円	438億円	435億円	418億円	421億円
土産費消費額	537億円	900億円	773億円	741億円	748億円
宿泊費消費額	512億円	584億円	523億円	604億円	805億円
入場料消費額	411億円	363億円	345億円	364億円	373億円
その他消費額	362億円	419億円	383億円	384億円	449億円
総消費額	3,204億円	3,800億円	3,541億円	3,656億円	3,958億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内	名古屋市外
食事費	7,386 円	1,008 円	2,225 円
交通費	1,722 円	408 円	1,076 円
土産費	4,416 円	384 円	1,793 円
宿泊費	11,898 円		
入場料	2,131 円	435 円	686 円
その他	1,743 円	607 円	1,015 円
合計	29,296 円	2,842 円	6,795 円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合計
		名古屋市内	名古屋市外	
食事費消費額	500 億円	199 億円	463 億円	1,162 億円
交通費消費額	117 億円	80 億円	224 億円	421 億円
土産費消費額	299 億円	76 億円	374 億円	748 億円
宿泊費消費額	805 億円			805 億円
入場料消費額	144 億円	86 億円	143 億円	373 億円
その他消費額	118 億円	120 億円	211 億円	449 億円
観光総消費額	1,983 億円	561 億円	1,414 億円	3,958 億円

(2) 観光地点入込客の実態

名古屋駅、栄エリア（オアシス 21、観光案内所）をはじめとする 9 観光エリアにおいて、平成 30 年 11 月 7 日（水）、11 月 11 日（日）、11 月 14 日（水）の 3 日間、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 1,920 サンプル）。

※11 月 14 日（水）は栄エリア（オアシス 21、観光案内所）のみ追加実施

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋駅	栄エリア （オアシス 21、観光案内所）	名古屋城（金シヤチ横丁含む）	金城ふ頭エリア	名古屋港水族館	大須観音	東山動植物園	熱田神宮	名古屋市科学館	合計
サンプル数	211	228	220	211	210	210	210	210	210	1,920

【観光地点別入込客の特性】

居住地をみると、ほとんどの観光地点で名古屋市内の割合が最も多い中、「名古屋駅」では関東からの訪問が名古屋市内を抜いて最も多い。

年代別にみると、「金城ふ頭エリア」が 30 代から 40 代の訪問率が高く、「名古屋港水族館」は 20 代、30 代、「大須商店街」は 20 代の割合が高い。「東山動植物園」は 30 代が高く、「名古屋市科学館」では 20 代、「熱田神宮」、「名古屋駅」では 60 代から 70 代の訪問率が高くなっている。

（本編参照）

■ 入込客の居住地構成

(単位：%)

東海				関東	近畿	北陸・甲信越	北海道・東北	中国・四国	九州・沖縄	国外
	名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜・三重・静岡							
73.8	42.1	21.2	10.5	9.6	7.4	3.4	1.7	1.6	1.8	0.7

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は1.50施設である。

調査エリア相互でみると、「名古屋駅」での調査では、「名古屋城」、「熱田神宮」、「徳川美術館」に訪れている割合が高い。「金城ふ頭エリア」では、「リニア・鉄道館」、「レゴランド・ジャパン」が近距離にあることから、セットで訪れる割合が高く、中には「名古屋城」を訪れている人も見受けられる。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

調査エリア	訪問施設														平均訪問施設数 (施設)
	名古屋城	記念館 トヨタ産業技術	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	名古屋テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋市科学館		
名古屋駅	35.6	5.7	5.2	12.9	8.8	14.4	1.0	2.1	1.0	7.2	2.6	0.5	1.5	1.64	
栄エリア(オアシス21、観光案内所)	14.5	1.3	3.9	1.3	2.6	5.3	0.4	1.3	0.4	5.7	1.8	3.5	0.9	1.50	
名古屋城(金シャチ横丁含む)		6.8	5.5	6.4	8.2	9.5	0.0	2.7	0.0	5.0	0.0	0.5	3.2	1.70	
金城ふ頭エリア	8.6	2.9	0.5	0.5	0.5	2.4	0.0	1.9	0.0	1.4	0.5	0.0	1.0	1.42	
名古屋港水族館	13.8	1.9	1.0	2.9	2.9	6.2	0.5	4.3	0.5	5.7	0.0	0.5	2.9	1.86	
大須商店街	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.4	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	1.12	
東山動植物園	2.4	0.0	1.0	0.5	0.5	1.0	0.0		2.9	1.4	0.0	0.0	0.5	1.15	
熱田神宮	18.6	1.4	1.9	5.7	4.8		1.9	1.9	0.0	4.3	0.5	0.0	1.4	1.65	
名古屋市科学館	8.6	2.9	3.3	1.0	2.4	4.3	0.0	1.4	0.0	1.4	1.9	1.0		1.48	

その他施設については本編参照

(複数回答)

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 891 円、土産代 1,582 円、食事代 2,458 円、入場料 789 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 11,898 円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額 (円)	891	1,582	2,458	11,898	789	949

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「大変満足」(29.0%)と「ほぼ満足」(45.0%)を合わせた 74.0%が満足と評価している。

■ 入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

(単位：%)

調査エリア・地域・性別・年齢		印象・満足度				
		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
調査エリア	名古屋駅	17.1	42.4	36.1	4.4	0.0
	栄エリア (オアシス 2 1、観光案内所)	13.9	62.5	16.7	6.9	0.0
	名古屋城(金シャチ横丁含む)	40.4	39.1	19.2	1.3	0.0
	金城ふ頭エリア	30.9	48.5	19.1	1.5	0.0
	名古屋港水族館	34.4	47.9	16.0	1.7	0.0
	大須商店街	21.3	44.7	31.9	2.1	0.0
	東山動植物園	22.9	40.6	32.3	4.2	0.0
	熱田神宮	28.5	49.3	20.8	1.4	0.0
	名古屋市科学館	42.6	37.7	18.0	1.7	0.0
地域	東海	25.4	46.2	26.2	2.2	0.0
	愛知県 (名古屋市を除く)	24.1	46.6	26.6	2.7	0.0
	岐阜県	27.2	47.8	23.9	1.1	0.0
	三重県	22.4	49.2	26.9	1.5	0.0
	静岡県	40.5	33.3	26.2	0.0	0.0
	関東	30.9	43.8	22.5	2.8	0.0
	近畿	30.0	50.0	18.6	1.4	0.0
	北陸・甲信越	37.1	37.1	19.4	6.4	0.0
	その他	33.0	43.5	20.4	3.1	0.0
性別	男性	30.1	43.2	25.3	1.4	0.0
	女性	27.9	46.6	21.8	3.7	0.0
年齢	10～19 歳	40.6	24.3	29.7	5.4	0.0
	20～29 歳	40.0	41.1	17.8	1.1	0.0
	30～39 歳	26.4	47.7	23.6	2.3	0.0
	40～49 歳	25.3	46.2	26.3	2.2	0.0
	50～59 歳	28.5	46.9	22.9	1.7	0.0
	60～69 歳	18.9	55.0	23.1	3.0	0.0
	70～79 歳	32.7	37.3	23.6	6.4	0.0
	80 歳以上	42.1	15.8	42.1	0.0	0.0
全 体		29.0	45.0	23.4	2.6	0.0

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

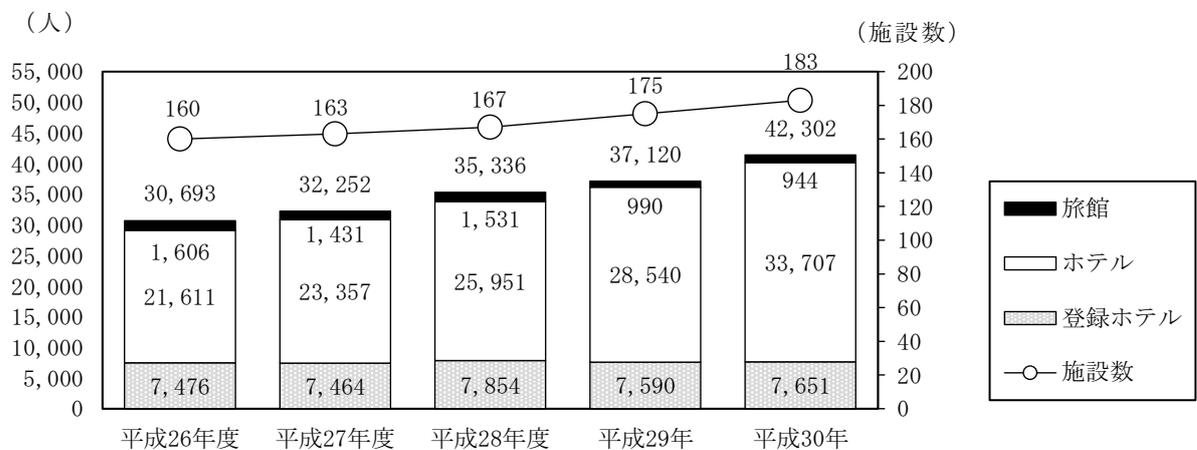
【宿泊施設数】

施設数では、登録ホテルが15施設、登録ホテルを除くホテルは149施設、旅館は19施設。また、室数の合計は27,806室、収容人数の合計は42,302人で、昨年より合計施設数では8施設、部屋数は2,818室、収容人数は5,182人の増加となった。

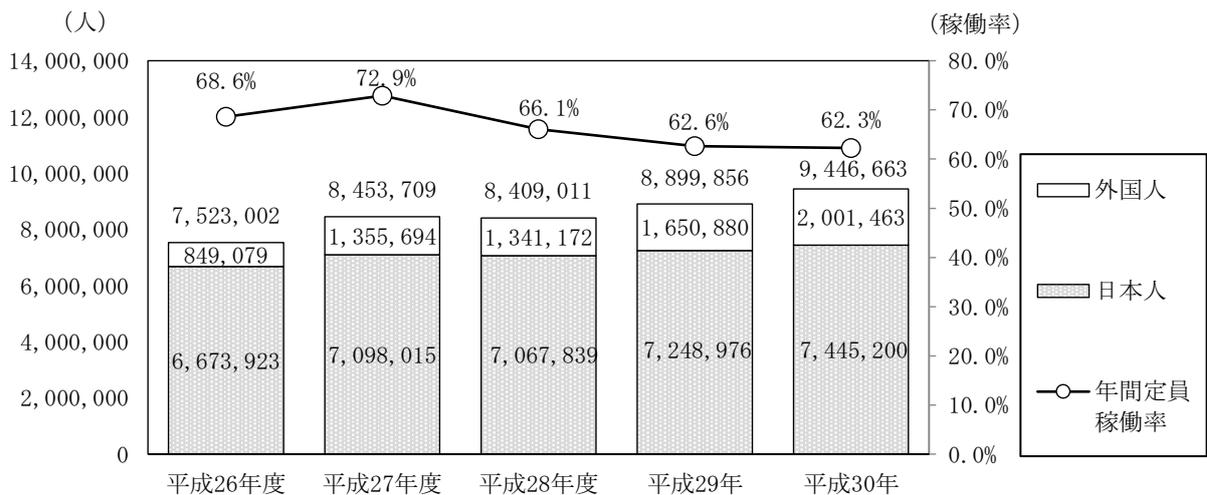
【年間宿泊者数】

平成30年の全施設の年間総延べ宿泊者数は約945万人泊であった。また、全施設の年間総実人数は約677万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約1.40日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

区 分	年度・年				
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 30 年
推計総実人数（人）	5,855,719	6,529,101	6,387,048	6,247,166	6,765,086
うち外国人	556,595	1,019,011	893,487	1,115,713	1,284,032
推計総延べ宿泊者数（人）	7,523,002	8,453,709	8,409,011	8,899,856	9,446,663
うち外国人	849,079	1,355,694	1,650,880	1,341,172	2,001,463
年間定員稼働率（％）	68.6	72.9	66.1	62.6%	62.3%

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 73 施設であった。

国別では、「中国」が全体の 37.2%と最も多く、施設分類別にみても、すべてのタイプの施設で中国の宿泊者が最も多くなっている。次いで台湾（16.9%）、香港（13.8%）とつづく。

■ 国別外国人宿泊者数

	平成 30 年						平成 29 年
	登録ホテル (人)	ホテル (人)	旅館 (人)	全 体			全 体 割合(%)
				人数(人)	推計人数	割合(%)	
回答数 (施設数)	9	62	2	73 施設			
中国	69,393	235,785	76	305,254	477,885	37.22	33.45
台湾	25,682	112,995	11	138,688	217,120	16.91	21.54
香港	24,444	88,497	9	112,950	176,827	13.77	14.14
韓国	13,769	51,335	20	65,124	101,954	7.94	10.11
米国	45,271	15,252	2	60,525	94,754	7.38	3.52
タイ	9,627	46,306	7	55,940	87,576	6.82	5.18
シンガポール	6,527	12,073	0	18,600	29,119	2.27	2.10
ベトナム	3,014	8,025	20	11,059	17,313	1.35	1.77
オーストラリア	3,381	6,031	0	9,412	14,735	1.15	1.27
マレーシア	2,370	6,496	0	8,866	13,880	1.08	1.46
インドネシア	3,523	5,074	18	8,615	13,487	1.05	1.34
ドイツ	3,391	3,858	1	7,250	11,350	0.88	0.82
英国	2,014	4,853	1	6,868	10,752	0.84	0.99
フランス	1,505	3,355	0	4,860	7,609	0.59	0.75
その他	223	5,935	20	6,178	9,671	0.75	0.69
合計	214,134	605,870	185	820,189	1,284,032	100.0	100.0

【修学旅行について】

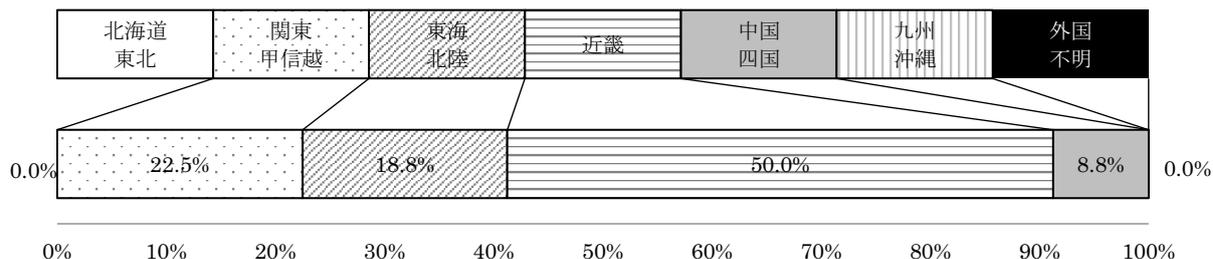
修学旅行を受け入れた宿泊施設は 5 施設で、学校数は 80 校、宿泊者数は 4,631 人であった。昨年に比べ学校数は 18 校減少、宿泊者数は 55 人増加している。

学校分類別では「小学校」が 31 校、「中学校」が 5 校、「高校」が 9 校、「その他」が 35 校となっている。（本編参照）

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 30 年
学校数（校）	55	82	116	113	98	80
宿泊者数（人）	2,787	3,984	5,543	5,506	4,576	4,631

■ 地域別修学旅行団体入状況



(4) 全国から見た名古屋の観光に関する評価

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、平成30年3月にインターネットを用いてアンケートを実施した（1,003サンプル）。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源については、認知度、訪問・経験割合、訪問・経験意向ともに「名古屋城」がトップである。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	信長攻路	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館	名古屋美術館	名古屋博物館	名古屋港	東山動植物園	栄	大須	文化のみち	有松	桶狭間	秀吉・清正記念館	レゴランド®・ジャパン	なごやめし	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
認知度	87.4	11.2	16.7	44.2	6.1	17.9	18.5	10.7	10.5	8.1	6.2	20.4	35.6	37.3	17.7	1.4	6.5	19.6	2.6	32.3	47.6	6.6	4.9	7.1	0.5	7.4
訪問経験	33.5	5.8	7.2	19.9	0.6	6.9	5.8	3.9	6.1	3.0	1.4	14.1	11.1	29.6	13.0	1.1	3.0	2.5	0.6	1.4	32.7	1.7	0.8	3.0	1.4	29.4
訪問意向	44.1	13.3	18.3	23.7	10.0	18.4	14.8	9.2	8.9	7.3	6.0	19.9	21.9	12.1	7.3	3.4	5.0	13.7	9.2	16.7	39.3	9.9	4.5	3.6	1.0	9.4

【名古屋の観光地としての魅力について】

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は38.4%と半数を占め、「魅力を感じない」は14.1%と1割程度である。

■ 名古屋の観光地としての魅力

(単位：%)

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
全体 N=1,003	38.4	14.1	47.5

■名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：%)

	他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと (観光施設の閉館時間が早いことなど)	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=141	54.9	21.8	9.2	29.6	12.0	7.7	12.7	0.0	4.2	4.9	9.2	7.7

【観光振興について】

平成 19 年 7 月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は、今回 6.3%となり、利用意向は 50.9%となった。

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設	年度・年	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年	平成 30 年
名古屋城		1,657,370	1,641,787	1,740,178	1,919,479	1,830,404	2,175,483
東山動植物園		2,228,650	2,271,248	2,583,986	2,408,400	2,512,291	2,521,652
東山スカイタワー		268,511	268,517	314,000	284,399	287,025	272,771
名古屋テレビ塔		242,286	269,852	325,462	299,953	297,436	316,524
熱田神宮		6,852,153	6,760,955	7,063,539	7,006,452	7,090,427	7,106,742
名古屋港		388,015	351,458	490,740	416,427	470,531	461,433
名古屋市科学館		1,436,926	1,394,003	1,382,275	1,379,293	1,277,909	1,362,519
徳川美術館		182,441	183,263	253,848	231,155	222,958	217,797
名古屋市博物館		456,102	426,518	437,550	451,666	447,718	451,453
東谷山フルーツパーク		469,843	520,078	483,182	480,833	428,631	418,892
農業文化園・戸田川緑地		1,188,451	1,135,295	1,119,575	1,156,780	1,075,147	1,074,356
でんきの科学館		292,131	293,669	313,455	243,722	279,932	308,754
名古屋市美術館		386,428	273,428	151,513	314,351	185,339	682,826
名古屋港水族館		2,040,420	1,967,223	2,051,785	1,967,486	2,195,051	2,089,865
トヨタ産業技術記念館		320,366	387,873	413,435	430,956	460,098	425,972
白鳥庭園		116,828	132,241	150,944	159,153	151,919	145,698
市政資料館		75,335	70,917	72,322	78,375	80,143	100,402
名古屋能楽堂		173,848	169,457	170,794	174,398	174,756	184,198
愛知県美術館		946,258	780,788	787,894	885,115	1,169,140	30,016
名古屋市農業センター		655,219	632,986	681,297	663,849	643,564	570,633
有松・鳴海絞会館		168,531	177,381	177,335	169,389	179,917	164,747
久屋大通庭園フラリエ		124,485	353,531	621,847	632,356	625,073	554,956
名古屋ボストン美術館		165,634	183,281	142,590	196,006	125,619	194,100
ノリタケの森		336,994	352,890	357,730	329,167	313,551	333,713
ブルーボネット		64,089	51,019	53,211	52,147	52,611	47,903
徳川園		233,203	285,957	320,341	320,335	300,498	328,011
文化のみち二葉館		33,485	35,942	37,555	34,085	32,174	31,253
スカイプロムナード		102,863	96,359	99,395	91,598	83,906	83,065
リニア・鉄道館		592,191	530,982	546,491	463,378	447,249	409,056
ナゴヤドーム		-	-	-	-	3,954,618	4,382,529
パロマ瑞穂スポーツパーク		-	-	-	-	1,449,293	1,332,061
主要観光施設の入込客数合計		22,199,056	21,998,898	23,344,269	23,240,703	28,844,928	28,779,380

注1：愛知県美術館は平成29年11月に改修工事の為休館。ギャラリーのみ平成30年11月開館。

注2：名古屋ボストン美術館は平成30年10月に閉館した。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査概要版

(平成 30 年)

令和元年 12 月発行

発 行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 株式会社 M S S